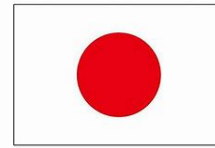




# ナミビア通信



## 光が丘第八小学校のみなさん、こんにちは☆

みなさん、お久しぶりです。ナミビア国に派遣されている菅原真実です。ナミビアに来て、1年以上が経ちました。生活はすっかり慣れ、子供たちの名前も覚えることができ、毎日楽しく過ごしています。ナミビアはこれから夏休みの時期になります。日本は段々冬に近づいて来た頃かな？季節が真逆で不思議ですね。今回はナミビアの部族と観光名所についてお伝えします。



ナミビアには10以上のたくさんの民族が暮らしています。今回は菅原先生が通っている学校にいる民族について説明します。先生の学校には、主に「オバンボ族」「ヘレロ族」「ダマラ・ナマ族」などがいます。この写真は、それぞれの民族の文化を紹介し合うイベントの写真です。みんなカラフルな民族衣装を着ていて、とても素敵ですよ。ちなみに、菅原先生はザンベジ地域に住む人々の衣装を着ました。



オバンボ族の衣装も着てみました。とても濃いピンクでワンピースみたいになっています。



日本の浴衣も着てみました。みんな興味深々で、とても喜んでくれました。

ここはナミブ砂漠という砂漠のデッドフレイという場所です。

デッドフレイ=死の沼という意味です。約1000年前には水がありましたが、天気の変化で枯れてしまいました。この砂漠は「世界で最も古い砂漠」といわれ、約8千万年前に生まれたといわれています。考えられないくらい昔でとても不思議な気持ちになりました。



砂丘に登ってみました。登っても登っても、中々進まず、頂上にとり着くまでとても大変でした。その分、頂上からの景色はびっくりするほど綺麗で一生忘れられない景色となりました。



ナミビア生活も残り5か月をきりました。残りの生活も、日本では経験できないことをたくさん吸収して、八小に持ち帰りたいと思います。みんなに会えるのを楽しみにしています☆